

それも税金のおかげ

柏市立柏中学校 第三学年 石原 鈴花

私は中学校の吹奏楽部でフルートを吹いていました。学校の活動は三年生ということもあり夏のコンクールで終了となりましたが、まだフルートの練習は続けています。学校の部活とは別にレガリスという柏市で昨年から活動を開始した東葛学生吹奏楽団に所属しています。レガリスには同じ中学校の吹奏楽部の友達に誘われて体験に行ったことが入団したきっかけです。現役で活躍しているプロの先生が指導してくださるということもあり、まだまだメンバーが少なかつたため、個人レッスンをしてもらえることも大きな魅力でした。観客を呼んでのコンサートも企画され、私はとても興味を持ちました。

しかし、音楽活動にはとてもお金がかかります。フルートも何十万円もするものが多く、私は両親に金銭的な負担をかけてしまうのではないかと不安に思っていました。またこれだけの手厚い音楽の指導をして頂けるということでも月謝も高いのではないかと心配でした。ただ実際に入会説明を聞いてみると、思ったほど月謝は高くなく、これなら何とか両親にお願いができるのではないかと思います。

そして一番大きいのは毎週の練習を行っている場所が市の運営する公民館などの公的施設であるということです。毎回、先生が予約を取って練習場所を確保してくれますが四時間も利用するのに利用料金が安いことに私は驚きました。私たちが支払う税金が施設の運営に利用されているからだと思います。

私は普段、あまり税について考えることはありません。あつたとしても買い物をした際の消費税がいくらか考える程度でした。ましてや税金がその先、どのように使われて私たちの生活にどのような役立っているのかということを考える機会はありませんでした。今回こうした音楽活動を通じて、「なぜそんなに施設利用費が安いのだろう。」という疑問から、税金の意味について考える機会を得ました。

買い物をする際には、「消費税がかかって嫌だな」と思うことがありましたが、自分自身の生活を振り返ってみると、通っている学校の施設も全て税金で建てられていて、安全に暮らすための警察署や消防署も税金があるから成り立っています。私の兄、姉は私立の大学、高校に通っていますが私立であっても補助金という形で税金が使われていることも聞きました。

私はまだ働いていませんが、大人になって働き始めたら所得税という形で税金を身近に感じると思います。私もこれから税金があるお陰で受けることができるサービスが他にあるのか、またすでに受けているのかを考え、納税者としての意識を高めていきたいと思います。